東公民館、和田前北公民館長が受賞
平成 28 年度愛媛県公民館研究大会

「平成 28 年度愛媛県公民館研究大会」は 10 月 19 日、愛媛県生涯学習センターで行われ、東公民館が優良公民館表彰を、北公民館の和田由美子前館長が優良公民館職員表彰を受賞しました。

東公民館は、各地区の関係機関や団体と一体となり、親子で参加できる事業を進めるなど、生涯学習の拠点として、明るいまちづくり・人づくりにつながる公民館の運営に努めた点が高く評価されました。

門田博館長は、「これからも、地域の皆さんや子どもたちが『気軽に集える公民館』を目指していきたいです」と笑顔で話していました。

㊧表彰状を手にする門田館長（写真右）、大西主事（写真左）

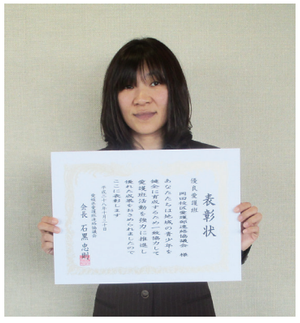
北公民館の和田前館長は、同公民館の館長を 5 年間努め、「地域のお茶の間づくり」をテーマに、子どもから高齢者まで幅広く参加できる公民館活動に向け力を注いだ点が高く評価されました。

和田前館長は、「『北公に来ると幸せな気分になる』とのお声掛けに励まされ『地域のお茶の間となる幸民館づくり』に邁進できました。皆さまに感謝しています」と話していました。

岡田校区愛護部連絡協議会が受賞
第 33 回愛媛県愛護班研究大会

「第 33 回愛媛県愛護班研究大会」は 10 月 30 日、愛媛県生涯学習センターで行われ、岡田校区愛護部連絡協議会が優良愛護班表彰を受賞しました。

同協議会は、交流事業の実施や「ふれあい新聞」の発行など、子どもの健全な成長を願い、明るく楽しい家庭や地域づくりを推進。親と子どもの絆、子どもたちの自主性を育成する活動が高く評価されました。



㊧表彰状を手にする山下哲子会長

石丸幸子さんが人権擁護委員新任
10 月1日付けで委嘱

10月1日付けで、石丸幸子さん＝筒井＝が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、皆さんの身の回りの悩み事などの相談に応じます。

毎月25日(土・日曜日、祝日の場合は別日)、人権擁護委員が人権相談に応じています。相談は無料で、秘密は堅く守られます。詳しくは、まさきお役立ちカレンダーで確認してください。

松前町の農水商工の恵みが集結
第 4 回まさき町産業まつり「たわわ祭」

第 4 回まさき町産業まつり「たわわ祭」は 11 月 12、13 の両日、まさき村店舗前駐車場で開催されました。

会場では、松前町の特産物、町が誇る技術をはじめ、姉妹都市の北海道松前（まつまえ）町の物産を販売・展示しました。さらにステージでは、エミフルズや愛の葉（え は）ガールズが歌やダンスで会場を盛り上げたほか、ミニチュアホース「エピちゃん」やマッキー、みきゃんなどのゆるキャラも登場。来場した延べ 2 万 4,000 人を楽しませました。

1_ 大盛況の餅まき　2_58 ブースが出展　3_ 新鮮な野菜が並ぶ　4_ おいしさを満喫　5、6_ 活気に満ちたブース　7_ 韓国太鼓が会場を巡る　8_ 餌やりにドキドキ　9_ 子どもが楽しめるブースも　10_ フラダンスで会場を魅了　11_ 愛媛サイクリングの日「試そう×きこう～スポーツバイク in まさき」　12_ 会場一体となって盛り上がる愛の葉（え は）ガールズ

防火対策は大丈夫ですか
松前消防署「ひとり暮らし高齢者宅防火診断」

松前消防署は 11 月 9 日から 14 日にかけて、町内の 1 人暮らしのお年寄り宅 37 軒を訪問し、「秋季火災予防週間中のひとり暮らし高齢者宅防火診断」を行いました。

この取り組みは、秋季火災予防週間に合わせ、防火意識を高めてもらおうと同署が実施したものです。見守り訪問では、署員が火の使用状況や住宅用火災警報器の設置状況など防火対策状況を確認。1 人暮らしでも安心して安全に生活できるようアドバイスしていました。

自分たちで作ったお米、おいしいね
青葉幼稚園「おにぎり大会」

青葉幼稚園の園児と徳丸農業区の皆さんは 10 月 28 日、同園内で「おにぎり大会」を行いました。

同大会で使ったお米は、徳丸農業区の皆さんの手を借り、園児たちが 6 月に泥だらけになりながら田植えをし、9 月に慣れない鎌に苦戦しながら稲刈りをして収穫したもの。園児たちは「おかわり」と元気な声を響かせ、自分たちで育てたお米をお腹いっぱい食べていました。田村來瑞（らいず）くんは「おいしくて、覚えていないくらいいっぱい食べました」と話していました。

火に親しみ、火を学ぶ
ガスコラボ四国「火育キッズ教室」

四国のガス体エネルギー事業者で結成するガスコラボ四国は 10 月 27、28 の両日、松前小学校で「火育キッズ教室」を開催しました。

この教室は、火に親しみ、火を学ぶ体験を通して、児童たちの豊かな心や生きる力を育もうと開催されたものです。参加した 6 年生の児童たちは、最初に火についてクイズ形式で学んだ後、マッチ擦り、古代の火おこし、かまど炊きの各種体験を行いました。

普段の生活では体験できない作業に、参加した児童は大苦戦。友達と協力しながら、火をおこす難しさやありがたさを学んでいました。

参加した河野小夏ちゃんは、「初めて火おこしの体験をしました。棒が回らなくて大変だったけれど、楽しかったです。山登りに行ったときなどに、学んだことを生かしてみたい」と笑顔で話していました。

㊧マッチ擦り体験。火がつくかみんなで見守る
㊨かまど炊き体験。懸命に空気を送る　㊦古代の火おこし体験。慣れない作業に苦戦する

おたたちゃんが 348 位にランクイン
ゆるきゃら®グランプリ 2016

「ゆるきゃら®グランプリ2016」の決選投票は11月5、6の両日、松山市の城山公園で開催され、本町からは商工会のキャラクター「おたたちゃん」が参加しました。

会場でおたたちゃんは、全国から来た人たちに最後の投票を懸命に呼び掛けるとともに、松前町の魅力を存分にPRしました。

3カ月にわたる戦いの結果は、1,421体のエントリー中、348位でした。たくさんの声援と投票、ありがとうございました。

㊤ステージで投票を呼び掛ける
㊦ブースでイベントを盛り上げる

鎌を使った稲刈りを体験
エミフル MASAKI「お米作り体験」

エミフル MASAKI（山口徹 支配人）と松前町北川原担い手組合は 10 月 29 日、「お米作り体験」を行いました。

この体験は、エミフル MASAKI が地域との交流を深めながら、子どもたちに農業の素晴らしさや食の大切さを知ってもらおうと、7 月の田植えに続いて企画したものです。

当日は、約 15 人の子どもが鎌を使った稲刈りを体験。佐藤優華ちゃんは「疲れたけれど自分たちでやるのはいいなと思いました」と話していました。収穫米は、参加者と和楽園に贈られました。

㊤ 11 月 20 日、和楽園に収穫米を贈呈　㊦稲刈りを楽しむ子どもたち

㊧岡田小学校の金管バンド　㊨松前・古城幼稚園の合唱　㊦松前中学校の合唱と吹奏楽

子どもたちが音楽で交流
2016 松前町児童生徒音楽発表交歓会

「町内音楽発表交歓会」は 11 月 9 日、文化センターで開催され、町立幼稚園、小・中学校、ひまわり少年少女合唱団、伊予高等学校吹奏楽部の皆さんが参加しました。

交歓会は、松前・古城幼稚園児の元気いっぱいの歌で始まり、各小中学校の出演者が息の合ったハーモニーや手拍子を入れながらの合奏などを披露。多彩な演奏で、会場に来た多くの人を目と耳で楽しませました。その後、伊予高等学校吹奏楽部の皆さんがアンコールを含む計 4 曲を演奏。迫力ある演奏で会場を魅了しました。

最後は、参加者と観客全員で「ふるさと」を合唱し、会場が一体となって音楽を楽しみました。

文化で彩られた 2 日間
第 41 回まさき文化祭

「第 41 回まさき文化祭」は 10 月 29、30 の両日、文化センターを主会場に開催されました。

文化祭では、延べ約 4,000 人が出演した芸能発表会をはじめ、書道、生け花や絵画など約 400 点の作品を展示。訪れた人たちは、見たり体験したりしながらさまざまな文化に触れていました。

期間中、会場はさまざまな文化で彩られ、多くの人の笑顔であふれていました。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

1＿町民の皆さんが心を込めて作った作品の数々　2＿多くの人が作品を鑑賞する　3＿葉っぱや松ぼっくりを使った秋を感じる作品　4＿和太鼓の演奏と掛け声で会場を盛り上げる　5＿子どもたちがお茶席で接待する　6＿艶やかな衣装で踊るよさこい　7＿ジャズ体操。笑顔を忘れず全身を使って力いっぱい踊る　8＿琴の演奏。息を合わせた演奏で優しい音色を奏でる　9＿見るだけでなく、実際に描いてみんなで文化に親しむ

園児と一緒に農地を豊かに
恵久美環境保全会「レンゲソウの種まき」

恵久美環境保全会（篠原功代表）は 10 月 24 日、同地区内の水田で、白鶴保育所の園児とレンゲソウの種まきを行いました。

この取り組みは、多面的機能支払交付金事業の一環で、レンゲソウの栽培により農地を肥やそうと 4 年前から行われているものです。参加した藤井美波ちゃん、岡田七海ちゃんは「寝そべったり鬼ごっこしたりしたい」「お母さんにプレゼントしたい」とにっこり。来年の春、満開のレンゲ畑で遊べることを、今から心待ちにしていました。

楽しみながら学ぶ交通安全
福祉ふれあいフェア 2016

「福祉ふれあいフェア 2016」は 10 月 29 日、福祉センターで開かれ、交通安全コーナーには体験・展示ブースが用意されました。

ブースには、パトカーの試乗コーナーや町内の小中学生が描いた交通安全ポスターの入賞作品の展示があり、大勢の親子連れが記念撮影などを楽しんでいました。また、おしゃれな自転車用ヘルメットも展示され、来場者は楽しみながら交通安全への意識を高めていました。

㊧身振り手振りを交えながら意見を述べる　㊨農業者の話に真剣に耳を傾ける町関係者　㊦農業の課題と現状についてみんなで共有する

農業の未来を考える
若手農業者検討会議

「若手農業者検討会議」は 10 月 24 日、役場で行われ、農業者など 20 人が参加しました。

この会議は、「どうする？　これからの松前町の農業！！　夢と希望の持てる農業へ」をテーマに、若い農業者の皆さんと町が意見を交わし課題や要望を共有することで、今後の町独自の農業政策に生かそうと行われたものです。

第 1 回目となった今回は、「農業の現状と課題」を話し合いました。参加者からは、新規就農時の住居の確保と研修先を見つけるまでの苦労話や、規模を拡大する際の労働力の問題など、さまざまな角度から意見が出されました。

同会議は本年度中、全 3 回の開催を予定しています。今後は、農業を活性化させる方法や独自の農業政策について、農業者と町が一体となって検討していきます。

みんなが元気に過ごせますように
黒田保育所「七五三」

黒田保育所の４歳児と５歳児の園児は 11 月 15 日、七五三に合わせて、近くの朝日天神社にお参りをしました。

園児たちは、思い思いに色付けをした手作りの袋に千歳飴を入れて参拝。先生から七五三の意味を聞いた後、「みんなげんきに、おおきくそだちますように」と二礼二拍手一礼をし、３歳児も含めた園児全員の健やかな成長を願っていました。

岡田小学校がアルミ缶回収で表彰
アルミ缶回収協力者優秀校表彰

アルミ缶リサイクル協会は11月1日、アルミ缶の回収に関して他の模範となる活動を行った岡田小学校に対し、「アルミ缶回収協力者優秀校表彰」を行いました。

今回、受賞したのは全国で62校。20年以上にわたり継続した回収活動を行った点が評価されました。美化委員長の石川智康くんは、「毎週木曜日に放送で呼び掛け、金曜日に回収しています。もっと呼び掛けをして、みんながもっと持ってきてくれるようにしたい」と話していました。

万が一に備えて
愛媛県原子力防災訓練

「愛媛県原子力防災訓練」は 11 月 11 日、県内外で行われ、本町の訓練には防災業務関係者など約 100 人が参加しました。

この訓練は、地震が発生し、伊方原子力発電所で放射性物質の放出による原子力災害が発生した場合に備え、組織の枠を超えて相互協力体制の強化と県民の原子力防災に対する理解を深めようと行われたものです。

本町では、車いすなどで支援が必要な人の移送訓練、救護所の開設・運営訓練や避難してきた人の受け入れ訓練などを実施しました。

さらに、避難者の受け入れ後、県災害リハビリテーション連絡協議会が避難所での健康管理について講座を実施。「避難所生活時にはエコノミークラス症候群を予防することが大切」と、体操を交えながら注意を呼び掛けていました。

㊧伊方町からの避難者を受け入れる　㊨要配慮者の移送訓練。４人がかりで階段を上る
㊦傷病者に対する医師の診察